



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年9月30日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岡谷 篤一
 問合せ先責任者（役職名）企画本部企画部長（氏名）大塚 秀樹 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 平成26年10月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	390,882	9.2	7,329	11.0	9,277	16.6	5,586	15.1
26年2月期第2四半期	357,927	0.7	6,602	6.5	7,955	8.0	4,851	4.6

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 8,157百万円 (△49.5%) 26年2月期第2四半期 16,159百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	580.17	—
26年2月期第2四半期	503.84	503.28

(注) 当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	427,492	141,923	31.4
26年2月期	406,481	134,647	31.2

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 134,214百万円 26年2月期 127,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	12.00	—	15.00	27.00
27年2月期	—	15.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	75.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

これに伴い、平成27年2月期期末の配当金予想は当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

なお、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定した場合の平成27年2月期第2四半期末配当金額は75円となります。詳しくは、後述の「株式併合に伴う配当の状況の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	800,000	7.5	15,000	7.0	17,000	1.5	11,000	7.4	1,142.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

これに伴い、平成27年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」に従い、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期2Q	9,720,000株	26年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	91,374株	26年2月期	91,112株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期2Q	9,628,784株	26年2月期2Q	9,629,153株

(注) 当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(2) 平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。なお、株式併合同日付で単元株式数の500株から100株への変更を併せて実施しております。

株式併合に伴う配当の状況の遡及修正

当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定した「配当の状況」は、下記の通りであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	60.00	—	75.00	135.00
27年2月期	—	75.00			
27年2月期(予想)			—	75.00	150.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(セグメント情報等).....	9
4. 参考資料.....	10
(1) 売上高のセグメント別内訳.....	10
(2) 取引形態別売上高内訳.....	10
(3) 設備投資額並びに減価償却費.....	10
(4) 人員の推移.....	10
(5) その他補足資料.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、政治的混乱が見られたものの、米国を中心に緩やかな回復基調が続きました。日本経済は、消費税増税による影響で弱含みで推移していますが、補正予算執行の本格化、設備投資の増加が期待され緩やかに回復すると予想されています。

このような状況下にあつて、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,908億82百万円で、前年同期比9.2%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が255億58百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益が73億29百万円（前年同期比11.0%増）、経常利益が92億77百万円（前年同期比16.6%増）となりました。また、当四半期純利益は55億86百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門では、国内の土木・建築関連の需要回復を受け建材分野が順調に伸び、自動車関連向けの鋼板類も順調に推移しました。海外では、米国、中国が好調でした。

特殊鋼部門では、自動車関連を中心に順調でした。

鉄鋼セグメント全体では、売上高は1,695億76百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

(情報・電機)

非鉄金属部門では、電子部材は堅調に推移しましたが、原料はスクラップの不足により売上高が伸び悩みました。

エレクトロニクス部門では、通信関連及びOA機器関連、自動車関連の電子部品が順調でした。

情報・電機セグメント全体では、売上高は803億94百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

(産業資材)

メカトロ部門、化成品部門ともに、国内外の自動車関連を中心に部品・工具、樹脂原料が順調でした。メカトロ部門では、特に設備機械の輸出が好調でした。

産業資材セグメント全体では、売上高は1,119億30百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

(生活産業)

配管住設部門では、駆け込み需要の反動及び、子会社売却により売上高が減少しました。

建設部門では、分譲マンションの販売が増加しました。

食品部門では、水産物の輸入が減少しました。

生活産業セグメント全体では、売上高は289億80百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,274億92百万円となり、主に期末日休日の影響に伴う売上債権の増加により前連結会計年度末に比べて210億10百万円増加しました。

負債は2,855億68百万円となり、主に期末日休日の影響に伴う仕入債務の増加により前連結会計年度末に比べて137億34百万円増加しました。

純資産は1,419億23百万円となり、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて72億76百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成26年3月31日発表の予想数値を据置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,486	12,239
受取手形及び売掛金	183,660	193,637
商品及び製品	39,406	42,505
仕掛品	475	393
原材料及び貯蔵品	1,568	1,711
その他	9,233	10,794
貸倒引当金	△539	△547
流動資産合計	245,289	260,734
固定資産		
有形固定資産	40,243	39,559
無形固定資産	1,015	2,242
投資その他の資産		
投資有価証券	106,221	111,078
その他	14,111	14,271
貸倒引当金	△400	△395
投資その他の資産合計	119,932	124,955
固定資産合計	161,191	166,757
資産合計	406,481	427,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,340	123,033
短期借入金	101,187	94,797
未払法人税等	2,819	3,044
賞与引当金	996	1,124
その他	7,336	7,768
流動負債合計	221,680	229,767
固定負債		
長期借入金	18,139	22,057
繰延税金負債	26,217	28,049
退職給付引当金	1,901	1,864
役員退職慰労引当金	670	666
その他	3,223	3,162
固定負債合計	50,153	55,800
負債合計	271,833	285,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	69,074	73,938
自己株式	△449	△450
株主資本合計	85,551	90,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,461	44,577
繰延ヘッジ損益	△9	0
為替換算調整勘定	15	△777
その他の包括利益累計額合計	41,468	43,800
少数株主持分	7,627	7,709
純資産合計	134,647	141,923
負債純資産合計	406,481	427,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	357,927	390,882
売上原価	334,049	365,323
売上総利益	23,878	25,558
販売費及び一般管理費	17,275	18,229
営業利益	6,602	7,329
営業外収益		
受取利息	614	666
受取配当金	942	1,404
持分法による投資利益	565	436
その他	391	631
営業外収益合計	2,513	3,138
営業外費用		
支払利息	828	835
手形売却損	21	20
その他	310	333
営業外費用合計	1,160	1,190
経常利益	7,955	9,277
特別利益		
固定資産売却益	11	12
投資有価証券売却益	11	74
その他	—	1
特別利益合計	22	88
特別損失		
固定資産処分損	2	2
投資有価証券評価損	0	0
持分変動損失	168	—
その他	1	0
特別損失合計	172	2
税金等調整前四半期純利益	7,805	9,363
法人税、住民税及び事業税	2,641	3,634
法人税等調整額	42	△104
法人税等合計	2,684	3,529
少数株主損益調整前四半期純利益	5,120	5,833
少数株主利益	269	247
四半期純利益	4,851	5,586

四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,120	5,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,435	3,145
繰延ヘッジ損益	42	10
為替換算調整勘定	1,994	△637
持分法適用会社に対する持分相当額	566	△194
その他の包括利益合計	11,038	2,324
四半期包括利益	16,159	8,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,730	7,918
少数株主に係る四半期包括利益	429	238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	149,266	74,660	104,095	29,906	357,927	—	357,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	556	743	384	718	2,402	△2,402	—
計	149,822	75,403	104,479	30,624	360,330	△2,402	357,927
セグメント利益	2,183	1,548	2,273	714	6,719	△116	6,602

(注) 1. セグメント利益の調整額△116百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	169,576	80,394	111,930	28,980	390,882	—	390,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	643	747	145	732	2,269	△2,269	—
計	170,220	81,142	112,076	29,713	393,152	△2,269	390,882
セグメント利益	2,260	1,614	2,734	513	7,123	206	7,329

(注) 1. セグメント利益の調整額206百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 参考資料

平成26年9月30日

平成27年2月期 第2四半期決算関係参考資料

岡谷鋼機株式会社

(1) 売上高のセグメント別内訳 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績			前第2四半期累計実績			通期予想		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
鉄 鋼	169,576	43.4	13.6	149,266	41.7	0.7	347,000	43.3	12.2
情報・電機	80,394	20.6	7.7	74,660	20.9	△1.0	158,000	19.8	1.7
産業資材	111,930	28.6	7.5	104,095	29.1	2.5	230,000	28.8	5.7
生活産業	28,980	7.4	△3.1	29,906	8.3	△1.0	65,000	8.1	4.4
合 計	390,882	100.0	9.2	357,927	100.0	0.7	800,000	100.0	7.5

(2) 取引形態別売上高内訳

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

取 引 形 態	当第2四半期累計実績		前第2四半期累計実績		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
国 内 取 引	272,143	69.6%	247,207	69.1%	24,936	10.1%
海 外 取 引	118,738	30.4%	110,720	30.9%	8,017	7.2%
合 計	390,882	100.0%	357,927	100.0%	32,954	9.2%

(3) 設備投資額並びに減価償却費 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績		通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比
設 備 投 資 額	1,503		2,600	
減 価 償 却 費	1,782		3,800	
〈 主 な 内 容 〉	倉庫設備	61	倉庫設備 本社ビル設備改修	70 70
	工場設備増設 (タイ)	116	工場設備増設 (タイ)	340
	工場設備増設 (愛知県)	90	工場設備増設 (米国)	130
	工場設備増設 (ポーランド)	52	工場設備増設 (ポーランド)	120
			工場設備増設 (愛知県)	90
	樹脂成型用金型	372	樹脂成型用金型	590

(4) 人員の推移

【連結】

(単位：千人、単位未満切捨て)

年 度	期 末 人 員	従業員一人当たり 売 上 高	従業員一人当たり 当 期 利 益
平成25年2月期	4,800	144,186	1,819
平成26年2月期	4,835	153,961	2,118
平成26年2月期第2四半期	4,748	75,384	1,021
平成27年2月期第2四半期	4,872	80,230	1,146

【個別】

年 度	期 末 人 員	従業員一人当たり 売 上 高	従業員一人当たり 当 期 利 益
平成25年2月期	661	784,498	9,267
平成26年2月期	693	780,259	10,932
平成26年2月期第2四半期	707	373,932	5,877
平成27年2月期第2四半期	706	406,025	4,591

(5) その他補足資料

◇◇◇単元株式数の変更及び株式併合について◇◇◇

平成26年9月1日を効力発生日として、当社の発行する普通株式について、5株を1株に併合し、単元株式数を500株から100株に変更いたしました。

◇◇◇株主優待のお知らせ◇◇◇

当第2四半期末(平成26年8月期)株主優待として、8月末保有株式数2単元(株式併合前1,000株)以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ 5kg》をお贈りいたします。発送は10月下旬の予定です。

当期末(平成27年2月期)保有株式数1単元(株式併合後100株)以上の株主様へは、4月下旬頃に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ 5kg》をお贈りする予定です。

◇◇◇今期のトピックス◇◇◇

当第2四半期累計期間に、新たに展開した事業及び主な出来事をご紹介します。

() 内は公表年月

◎ チャリティーコンサート開催について(2014年3月、7月)

当社は、社会貢献活動の一環として、昨年に引き続き7月18日(金)、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて「OKAYA CHARITY CONCERT 2014 ～感謝の夕べ～」を開催しました。

多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金と当社からの寄付金及び、ご来場くださいました皆様からお預かりしました募金額を合わせ、合計380万円を越す金額を社会福祉法人愛知県共同募金会に募金しました。

◎ シンガポール岡谷鋼機会社 マレーシア事務所開設について(2014年3月)

当社子会社のシンガポール岡谷鋼機会社は、マレーシア連邦クアラルンプール市に6月1日付でマレーシア事務所を開設し、同国における情報収集活動を行います。

◎ ニシフミート株式会社の株式取得(子会社化)について(2014年4月)

当社は、鶏肉加工品等の販売を行うニシフミート株式会社の株式を取得し、5月7日付で子会社化しました。同社の販路を活用し、当社グループの食品事業を強化します。

◎ インド共和国における日本語学校支援について(2014年6月)

当社子会社のインド岡谷鋼機会社(本社 ニューデリー)は、同国における社会貢献活動の一環として、現地に開講する日本語講座への支援を開始しました。

日本語講座の名称は「OKAYA Sponsored Japanese Language Course」です。8月3日に開講し、22名の受講生が熱心に日本語を学んでいます。

◎ メキシコ現地法人設立について(2014年8月)

当社は、メキシコ合衆国グアナフアト州シラオ市内に、商社現地法人であるメキシコ岡谷鋼機会社を9月4日付で設立いたしました。当社グループの中南米地域における営業拠点として、自動車産業を中心に各国からの進出が加速している同地域において今後の取引拡大を目指します。

◎ 農業生産法人の設立について(2014年8月)

当社は、宮城県宮城郡松島町でトマトを生産する農業生産法人マキシマファーム株式会社(9月26日付設立)に出資いたしました。生産開始は2015年12月を予定しています。当社の食品事業との相乗効果を見込み、市場開拓を進めてまいります。

以上